

じそんのかね

自尊の鐘



蕪崎西中学校 学校たより
2020. 3. 13 N023
発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いつくしみ、自らをたっとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。

令和元年度学校評価について

新型コロナウイルスの影響で、臨時休校や学校行事の縮小が行われる中、生徒にもご家庭にもいろいろなご負担をかけていることと思います。先日卒業式も無事に終わり、早く収束することを願いつつ学校再開に向けて静かに準備を進めているところです。さて、毎年学校ではこの時期に今年度のまとめと振り返りをしながら、来年度に向けての教育活動の方針やその内容(教育課程)を検討し作成しています。具体的に言うと、各学年の教科の授業や特別活動についての年間指導計画や西鐘祭などの行事、毎日の給食や掃除等の日課にいたるまで、その目標をどこに定め、いつどのように取り組むのかといった教育活動の計画作りをしているということです。



そのために今年度を振り返り、来年度の教育計画の指針とする目的で、本校では『学校自己評価』をまとめました。この『学校自己評価』は、教師自ら行う「教職員自己評価」と、二学期末に行った「保護者アンケート」「生徒アンケート」の結果を併せて分析し、全体としてまとめたものです。

保護者の皆様には、忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。そのなかで、意見記述欄には「登下校時や学校に行くと、生徒がいつもしっかりあいさつをしてくれること」、「これからも下級生にあいさつを伝統として続けて欲しいこと、特に今年から3年生を中心に始めた立ち止まってするあいさつが素晴らしいこと」、「二者懇談等で先生がしっかりと向き合って話を聞いてくれること」、「学校からの通信やブログなどの情報発信についての高い評価」、「西鐘祭や合唱祭などの行事が生徒の成長につながり、実際に参観して感動したこと」「朝や放課後また休日に部活動の指導を熱心にしてくれることへの感謝」等等、たくさんの温かい励ましのお言葉をいただきました。

一方で、「登下校の事故等の安全についてのご心配」、「受験や学力についての不安」、「教師の荒い言動や愛情を感じられない、伝わっていない指導についてのご指摘やお叱り」「アンケートの回答の選択肢の改善」「お便りや学校からの配布物等のペーパーレス化への改善」等の厳しいご意見やご指摘もあり、学校でもしっかりと受け止め、改善に向けて検討していきたいと思っております。

また、先日2月の27日には、「学校関係者評価委員会」を開き、『学校自己評価』をもとに5名(1名欠席)の学校評議員の皆様にご意見をいただきました。その結果も踏まえ、来年度の教育活動に活かしていきたいと考えています。今年度の『学校自己評価』の概要と、それを受けての「学校関係者評価」の内容については、別紙でブログにアップしました。ぜひ、併せてご覧ください。

今回の学校便りは臨時休校で生徒には配布できませんが、今後も学校は家庭と手を取り合っ、お子様の成長に寄り添い支援していきたいと思っております。保護者の皆様には引き続き本校の教育に対してのご理解とご協力をお願いいたします。